

平成 14 年 度 年 報

釧路市立博物館

沿 革

施 設 の 概 要

運 営

組 織

職 員

予 算

利用状況

資 料 収 集

調 査 研 究

教 育 普 及

常設展示

特別展示

各種事業

出 版 物

協 力 事 業

寄贈資料一覧

1 沿 革

昭和10年	釧路市立博物館設立委員会が発足。
昭和11年 7月14日	幣舞町旧市役所別館、元水道建設事務所 2 階を陳列室として「釧路市立郷土博物館」を開館。
昭和24年 2月 1日	旧市役所庁舎拡張のため、北大通 5 丁目(株)丸三鶴屋 3 階を借り受け移転開館。
昭和26年 7月28日	鶴ヶ岱公園内に「釧路市立郷土博物館」新館竣工。
昭和27年 1月20日	釧路市立郷土博物館新聞創刊（現在の館報）。
昭和27年 4月 1日	釧路市立郷土博物館が博物館に相当する施設として指定された。（文部省告示第13号）
昭和27年10月30日	釧路市立博物館が博物館として指定された。（文部省告示第162号）
昭和32年 7月 2日	第 5 回全国博物館大会釧路市で開催。
昭和33年 4月 1日	入館料が有料となる（大人10円、学生 5 円）。
昭和35年 4月 1日	館内資料展示替え、5 年計画で開始。
昭和40年 7月 8日	第4回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和41年 7月14日	創立記念30周年記念事業開催。
昭和42年 1月14日	博物館移築促進期成会準備委員会が発足し、移築促進についての陳情が行われる。
昭和44年 9月 3日	安倍寛次コレクション 3,536点寄贈される。
昭和46年 4月24日	釧路市立郷土博物館友の会発足。
昭和48年 9月	釧路市立郷土博物館新館設計調査小委員会発足。
昭和52年10月 4日	釧路市埋蔵文化財調査センター開館。
昭和55年 6月18日	釧路市立郷土博物館新館展示等委員会発足。
昭和56年 5月 1日	新築工事開始。
昭和58年11月 3日	「釧路市立博物館」として開館。
昭和59年 7月 6日	第23回北海道博物館大会釧路市で開催。
昭和61年 7月13日	創立50周年記念式典・祝賀会開催。
昭和62年10月 6日	第35回全国博物館大会釧路市で開催。
平成元年 2月 9日	昭和63年度全国博物館指導者研究協議会（庶務・自然史部門）釧路市で開催。
平成 3 年11月 6日	全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会役員会当館にて開催。

2 施設の概要

(1)	所 在 地	釧路市春湖台 1 番 7 号			
(2)	総事業費	1,911,326,000円			
(3)	敷地面積	4,450.00㎡			
(4)	建築面積	1,528.78㎡			
(5)	延床面積	4,301.76㎡			
(6)	建築構造	鉄筋コンクリート造 地下 1 階・地上 4 階			
(7)	工 期	建築工事着工	昭和56年 5 月 1 日	展示工事着工	昭和57年 6 月 4 日
		竣工	昭和58年 6 月30日	竣工	昭和58年10月15日
(8)	各階面積				
	1 階	1,500.09㎡	4 階	755.78㎡	
	2 階	886.75㎡	塔 屋	145.65㎡	
	3 階	571.17㎡	地 下	422.30㎡	
(9)	主室面積				
	展示室	1,162.88㎡ (1.24階)	市民研究室	21.84㎡ (3 階)	
	講 堂	165.89㎡ (1 階)	図書室	103.39㎡ (3 階)	
	工作室	103.78㎡ (1 階)	実験室	15.54㎡ (3 階)	
	滅菌消毒室	12.39㎡ (1 階)	冷凍室	10.92㎡ (3 階)	
	事務室	86.63㎡ (1.2階)	恒温恒湿収蔵庫	34.61㎡ (3 階)	
	特別展示室	97.95㎡ (2 階)	印刷室	11.13㎡ (3 階)	
	魚類収蔵庫	30.53㎡ (2 階)	会議室	44.15㎡ (3 階)	
	開拓記念物収蔵庫	128.00㎡ (2 階)	植物収蔵庫	30.48㎡ (4 階)	
	応接室	21.97㎡ (2 階)	動物収蔵庫	28.00㎡ (4 階)	
	地学収蔵庫Ⅰ・Ⅱ	18.77㎡ (3 階)	開拓記念物収蔵庫	91.32㎡ (4 階)	
	研究室	66.37㎡ (3 階)	機械・ボイラー室	327.79㎡ (地下)	
(10)	収容能力				
	展 示 室	600人	市民研究室	10人	
	講 堂	100人	会議室	25人	

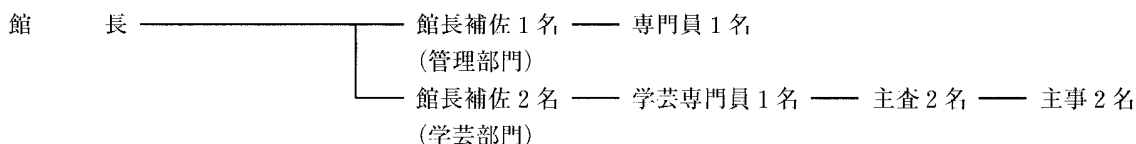
釧路市立博物館

(1) 建築意匠

釧路市立博物館は、釧路市埋蔵文化財調査センター（延床面積973.41㎡）と併置しており、建築設計は釧路市出身の建築家毛綱毅曠氏によるもので、昭和59年度日本建築学会賞受賞作品。タンチョウが羽をひろげた姿をイメージした建物である。階段状の屋根は、博物館の位置する春採湖畔の丘陵の等高線を表現したものである。

3 運 営

(1) 組 織



(2) 職 員

館 長	奥宮 格	学芸専門員（学芸員）	山代 淳一
館長補佐	小林 茂	主 査（学芸員）	加藤 春雄
館長補佐（学芸員）	橋本 正雄	主 査（学芸員）	戸田 恭司
館長補佐（学芸員）	針生 勤	主 事（学芸員）	土屋 慶丞
専 門 員	赤川 祐征	主 事（学芸員）	高橋 勇人

(3) 私の博物館企画選定委員（任期 平成14年 4 月～平成15年 3 月）

委員長 林田 恒夫 病院事務長	委 員 新妻 賢二 会社社長
委 員 我孫子尚枝 陶芸家	〃 藤田 民子 詩 人
〃 高嶋 幸男 大学教授	

(4) 予 算（平成14年度）

歳入予算総額	8,164千円	歳出予算総額	58,578千円
博物館入館料	7,658千円	管理運営費	56,228千円
その他	506千円	事業費	900千円
		資料収集整備費	200千円
		教育普及活動費	980千円
		調査研究費	270千円

(5) 平成14年度 利用状況

月別入館者状況

月 別	開館 日数	個 人				団 体				有 料 入館者	無 料 入館者	入館者 総 数
		一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計	一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計			
4	24	654	12	225	891	22	0	93	115	1,006	279	1,285
5	26	1,166	21	305	1,492	70	17	0	87	1,579	1,081	2,660
6	26	732	6	149	887	238	0	145	383	1,270	735	2,005
7	25	1,143	18	252	1,413	92	0	34	126	1,539	1,739	3,278
8	28	2,642	57	751	3,450	134	0	169	303	3,753	2,057	5,810
9	23	826	5	147	978	99	0	562	661	1,639	1,367	3,006
10	26	652	9	94	755	281	0	99	380	1,135	808	1,943
11	23	472	5	139	616	50	0	83	133	749	2,498	3,247
12	23	232	4	65	301	22	38	0	60	3612	550	911
1	21	393	5	91	489	0	36	0	36	525	693	1,218
2	23	409	7	64	480	0	0	0	0	480	550	1,030
3	25	575	14	112	701	48	0	2	50	751	905	1,656
計	293	9,896	163	2,394	12,453	1,056	91	1,187	2,334	14,787	13,262	28,049

4 資料収集

収蔵資料状況（平成15年3月現在）

区 分	平成12年度 までの累計	平成13年度 新収蔵資料数	平成14年度 新収蔵資料数	合 計
人 文 科 学	20,861	733	13,452	35,046
自 然 科 学	28,013	28,575	357	56,945
美 術 工 芸	215	0	0	215
合 計	49,089	29,308	13,809	92,206

5 調査研究

釧路湿原継続調査、春採湖のヒブナ生息調査、釧路地方の鳥獣類生息調査・昆虫相調査・淡水魚の生態調査・貝化石の調査、イトヨの形態学的生態学的調査、博物館資料の分類整理に関する調査研究・保存処理研究。

6 教育普及

(1) 常設展示

本館の常設展示テーマは「北の大地にくりひろげられた自然と文化」である。北緯43度に位置する釧路地方の自然と歴史を、この地方ならではの素材で7つのテーマに分けて紹介している。

- 1) 1階エントランスホール〔氷期の使者マンモス〕 正面玄関のホールにマンモスの骨格標本が、入館者を迎える。マンモスは、地球上最後の氷河期にユーラシア大陸から北海道へ渡ってきたといわれ、北方圏の博物館であることを主張している。
- 2) 1階展示室〔釧路の大地〕 地球模型で、現在の釧路の地形を概観し、パネルや標準化石によって、現在の釧路が形づけられるまでを説明する。特に湿原については、古地理図や断層断面で湿原のおいたちが理解できるようにしている。
- 3) 1階展示室〔釧路の生物〕 ジオラマにより釧路湿原の植物・魚の種類や形態を、本数や密生の様子生育立地を正確に復元した。針葉樹や広葉樹の入り混じる樹林や、釧路地方に生息する昆虫・鳥獣類の生態を展示している。
- 4) 1階展示室〔釧路の海〕 寒海性の魚を、砂底・岩礁・外洋・深海にわけて紹介し、サケ・コンブ・海獣類や、海鳥繁殖地として知られる大黒島での鳥獣のすみわけを展示している。
- 5) 2階展示室〔釧路の先史時代〕 復元資料として、東貝塚の貝層断面、東釧路人の墓、三津浦遺跡の炉址、フシココタンチャシのアカウミガメがある。古釧路湾のころ、東釧路の貝塚、海岸線の集落、川すじの集落、チャシが築かれたころの各論で構成している。
- 6) 2階展示室〔釧路の近世と近代〕 国内でも最大規模の霧笛のラッパ、川崎船、焼玉エンジンをメインに配置し、霧の港と水産の街を象徴。本市の基幹産業を育てた馬産・林業・炭鉱・漁業の道具や資料写真で、資源を求めて開拓にあたった姿を紹介している。
- 7) 4階展示室〔サコロベの人々〕 釧路のアイヌの人々の生活資料を中心に430点の資料を選び、壁側は狩猟・漁撈・採集・農耕、衣・食・住、信仰・儀式、交通・運搬の9項目に分類し、中央には首飾り・耳輪、喫煙具・育児具・楽器・棒酒甕・鐙などを抽出し展示している。
- 8) 4階展示室〔タンチョウ〕 映像で世界の鶴の種類やタンチョウの四季の生活を紹介。骨格標本と剥製標本、それに羽、気管の実物模型を使いタンチョウの形態を紹介している。展示物が観覧者を取りかこみ、展示物のなかを散策しながら情報の得られる直径10mの大型ジオラマは、冬の湿原で愛の舞をくりひろげるタンチョウのつがいや、6月ころの湿原で卵からかえったヒナ、給餌するタンチョウの親子の姿が美しい背景の中で楽しめる。
- 9) 立体環境音楽 常設展示は8つの小テーマからなるが、これらのテーマの情景を音で伝達するため、展示室には立体環境音楽が採用されている。各コーナーにより、「湿原を吹きぬける風と水の流れ」、「ひろがる北の海」、「時の流れ」、「コタンを吹きぬける風や梢からこぼれる陽の光」、「湿原とタンチョウ」など異なったテーマの音楽が流れ、見学者に五感で訴える展示となっている。

(2) 特別展示

1) 特別展「収蔵資料展」 平成14年4月27日(土)～5月26日(日)

常設展示（展示数4,100点）では展示されていない所蔵資料を展示。地学・昆虫・鳥獣・魚類・歴史・考古の各分野資料あわせて約550点を紹介した。又、各分野の展示分野の展示解説を行った。

2) 特別展「釧路の昆虫」 平成14年7月25日(木)～8月21日(木)

標茶町在住の飯島一男氏より寄贈された3万点以上の昆虫標本のなかから、トンボ・チョウ・蛾・甲虫などの1万5千点あまりを展示した。

3) 特別展・私の博物館「映画ポストカード展」 平成14年10月19日(土)～11月17日(日)

提供者：高橋国治氏。コレクションしているポストカード（邦画・洋画約300点）を中心にテレホンカード20点、ポスター10点をジャンル別・シリーズ別に資料に解説をつけて展示した。

4) 特別展・私の博物館「コーヒー空き缶コレクション展」 平成15年2月22日(土)～3月23日(日)

提供者：河瀬則見氏（阿寒町在住）。コーヒーの空き缶をメーカー別・ブランド別に約1,100点と雑誌切抜き20点を展示し、資料の解説をつけ、コーヒーに関することがらをパネルで紹介した。

(3) 各種事業

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
4月13日	釧路昆虫同好会総会		
4月21日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	39名
4月27日	特別展「収蔵資料展」		
5月3日	体験講座「飛ばせ！手作り竹トンボ」	小・中学生	9名
5月9・10日	「キタサンショウウオ調査」		
5月18日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	38名
5月25日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」 －春採湖に生息する魚を観察－	小学生～一般	32名
5月26日	「釧路町森林公園探鳥会」	小学生～一般	25名
5月29日	道東3管内博物館施設等連絡協議会総会		
5月29日	博物館友の会役員会・総会		
6月8日～ 23日	「タンチョウイラスト展」 マンモスホール		
6月8日	「しらべてみよう春採湖の昆虫」 －春採湖畔の土壌動物－	小学生～一般	24名
6月15日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	28名
6月16日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	11名
6月22日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	22名
6月27日	「私の博物館」企画選定委員会 3階会議室		
6月30日	「北斗湿原探鳥会」	小学生～一般	16名
7月6日	春採湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	14名
7月7日	史跡探訪会「もっと知ろう北斗遺跡」	小学生～一般	4名
7月13日	春採湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	33名
7月14日	子どものための「磯の生物観察会」 場所：岩見浜海岸	小・中学生	31名
7月14日	「しらべてみよう春採湖の昆虫」	小学生～一般	47名
7月21日	春採湖畔「探鳥会」	小学生～一般	24名
7月25日～ 8月21日	特別展「釧路の昆虫」		
7月27日	「白湯山登山観察会」	一 般	28名
7月28日	「親子の昆虫採集・観察会」	小学生～一般	27名
7月28日	「昆虫の名前をしらべる会」 釧路昆虫同好会共催 講堂	小学生～一般	43名
7月30日	体験学習「せんべいをつくろう」	小・中学生	28名
8月1日	「化石レプリカ教室」 アンモナイトのレプリカ作成 講堂	小・中学生	20名
8月3日	「親子土器づくり教室」	小学生～一般	22名
8月10日	特別展記念講演会「はくは虫屋～昆虫の世界は絶対おもしろい」 北見市：柳谷学芸員	小学生～一般	46名
8月11日	子どものための「磯の生物観察会」 場所：岩見浜海岸	小・中学生	26名



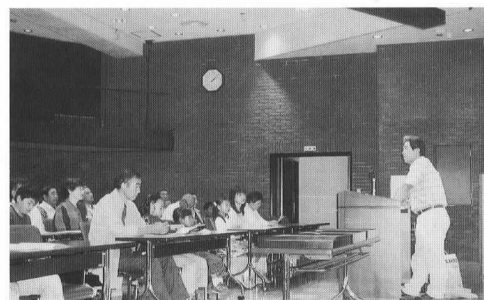
春採湖「フィッシュ・ウォッチング」



昆虫の名前をしらべる会



体験学習「せんべいをつくろう」



特別展記念講演会

月 日	事 業 名	対 象	参加者数
8月11日	「しらべてみよう春探湖の昆虫－トンボ池の昆虫」	小・中学生	25名
8月17日	春探湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	55名
8月17日	春探湖畔「探鳥会」	小学生～一般	16名
8月24日～ 9月8日	「おさかなセミナー2002」パネル展 マンモスホール		
8月25日	歴史探訪会「まちなみ散歩」北大通を散策	小学生～一般	19名
8月25日	春探湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	20名
9月8日	史跡探訪会「もっと知ろう北斗遺跡」	小学生～一般	5名
9月14日	「しらべてみよう春探湖の昆虫－鳴く虫たち」	小学生～一般	21名
9月21日	春探湖畔「草花ウォッチング」	小学生～一般	32名
9月22日	春探湖畔「探鳥会」	小学生～一般	11名
9月22日	春探湖「フィッシュ・ウォッチング」	小学生～一般	2名
9月29日	第13回「博物館まつり」講堂	小学生～一般	236名
10月1日～ 10月13日	釧路昆虫同好会「ポスター・パネル展」 マンモスホール		
10月3日	道東3管内博物館施設等交流会議「博物館と学校」浦幌町		
10月5日	釧路昆虫同好会20周年記念講演会「昆虫と触れ合い昆虫から学ぶ総合学習」講堂		
10月6日	歴史探訪会「まちなみ散歩」米町周辺を散策	小学生～一般	13名
10月10日	総合学習のための展示解説		
10月13日	史跡探訪会「もっと知ろう北斗遺跡」	小学生～一般	8名
10月19日～ 11月17日	特別展「私の博物館～1枚の物語・映画ポストカード展」高橋国治氏、マンモスホール		
10月20日	春探湖畔「探鳥会」	小学生～一般	17名
10月23日～ 10月30日	巡回展「移動博物館」 老人保健施設～星が浦		
10月24日	道協ミュージアムマネジメント研修会「博物館とエコツーリズム」富良野市：小林補佐、山代学芸専門員が出席		
10月27日	博物館友の会「博物館めぐり」～春国岱・根室市	友の会会員	19名
10月30日	巡回展「移動博物館」～鳥取小学校		
10月31日	キタサンショウウオ人工池草刈作業		
11月1日	巡回展「移動博物館：伝統技術実演会（畳の張替え）」～鳥取小学校		
11月2日	第19回ミュージアムコンサート 「チェロの夕べ」1階展示室 演奏者：毛利 巨麿氏	小学生～一般	71名
11月7日	巡回展「移動博物館」～旭小学校		
11月8日	巡回展「移動博物館：伝統技術実演会（畳の張替え）」～旭小学校		
11月9日	博物館学芸員トーク「釧路湿原のイトウは幻になるのか？」講師：針生学芸員	小学生～一般	20名
11月10日	特別展「私の博物館～映画ポストカード展」展示解説：高橋国治氏、マンモスホール		
11月16日	博物館学芸員トーク「ちょっとおもしろい！鳥の話し」講師：橋本学芸員	小学生～一般	16名
11月17日	春探湖畔「探鳥会」	小学生～一般	15名



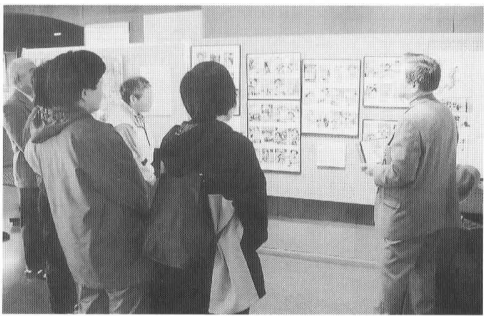
春探湖畔「草花ウォッチング」



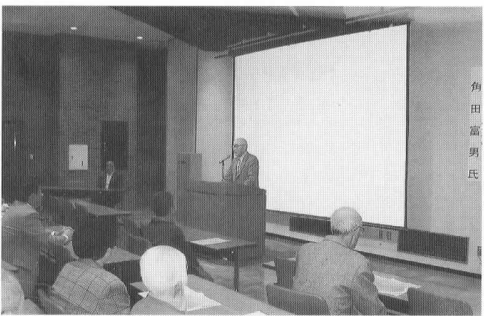
史跡探訪会「もっと知ろう北斗遺跡」



巡回展「移動博物館」



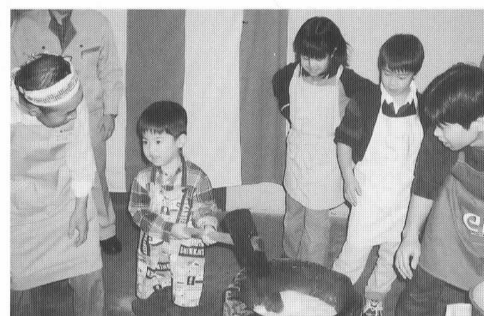
私の博物館展示解説



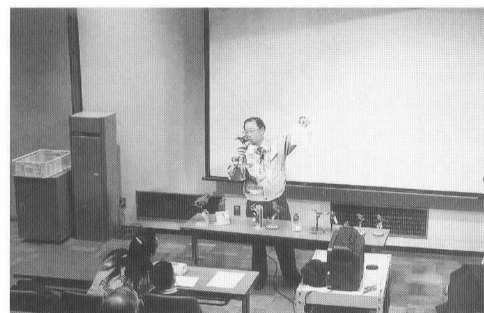
博物館友の会講演会

釧路市立博物館

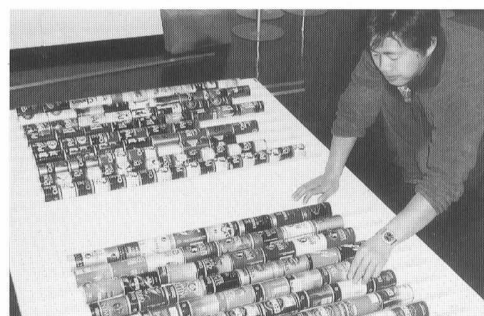
月 日	事 業 名	対 象	参加者数
11月30日	博物館友の会講演会「シルクロードの原風景」講師：角田 富男氏 講堂	小学生～一般	36名
12月 7 日	博物館学芸員トーク「モシリヤチャシとチャランケチャシ」 講師：高橋学芸員	小学生～一般	12名
12月14日	博物館学芸員トーク「釧路で採集した打ち上げ貝」 講師：山代学芸員	小学生～一般	17名
12月27日	体験講座「もちつきをしよう」 講堂・荷解き室	小・中学生	51名
1 月11日	「雪と氷の自然観察会」 春採湖	小学生～一般	22名
1 月15日	「化石レプリカ教室」 講堂	小・中学生	20名
1 月18日	博物館学芸員トーク「春採湖周辺で見られる蝶類」 講師：土屋学芸員	小学生～一般	17名
1 月25日	博物館学芸員トーク「鳥取県土族の釧路移住」 講師：戸田学芸員	小学生～一般	27名
2 月 2 日	博物館ツアーガイド「英語でチャレンジ」	一 般	6 名
2 月 8 日	「雪と氷の自然観察会」 春採湖	小学生～一般	4 名
2 月 9 日	ワシ類の保護に関する国際シンポジウム 「オオワシ・オジロワシの現状と保護」 講師：ウラジミール・マストロフ氏他、 講堂	小学生～一般	80名
2 月14日	「歩くスキーでアニマルトラッキング」 温根内木道、温根内ビジターセンター・ボランティアレンジャー共催	小学生～一般	28名
2 月15日	博物館講座「野鳥との楽しみ方」 講師：橋本学芸員	小学生～一般	57名
2月22日～ 3月23日	私の博物館「コーヒー空き缶コレクション」 提供者：河瀬則晃氏 マンモスホール		
3 月 4 日	第2回「私の博物館」企画選定会議		
3 月 8 日	博物館ツアーガイド「英語でチャレンジ」	一 般	6 名
3 月 9 日	「千代の浦海鳥観察会」 千代の浦海岸	小学生～一般	6 名
3 月16日	講演会「タンチョウとわたし」 講演：アーチボルト博士・正富教授、講堂	小学生～一般	102名



体験講座「もちつきをしよう」



博物館講座「野鳥との楽しみ方」



私の博物館「コーヒー空き缶コレクション」



11月8日
巡回展「移動博物館」
伝統技術実演会（畳の張り替え）
釧路市立旭小学校

(4) 出版物・刊行物

- ・ 釧路市立博物館館報：昭和27年1月に釧路博物館新聞として発刊以来、平成15年3月号をもって380号に達した。
B5版、12頁、800部、年4回刊行。
- ・ 釧路市立博物館紀要：昭和47年3月に第1輯を発刊、平成15年3月に第27輯を刊行。
- ・ 博物館総合案内：B5版、カラー87頁、常設展示物を解説した総合ガイドブック。
- ・ 解説シリーズ：B6版、釧路の自然・歴史をやさしく解説した小冊子、シリーズ9まで刊行。

7 協力事業

(1) 北海道博物館協会、道東3管内博物館施設等連絡協議会への協力

(2) 関係団体への協力

釧路市立博物館友の会、釧路自然保護協会、日本野鳥の会釧路支部、釧路考古学研究会、釧路昆虫同好会

(3) 国、道、各市町村（教育委員会含む）、博物館その他機関への協力

環境省庁

(4) 博物館実習

平成14年7月～平成15年2月：北海道教育大学教育学部釧路校21名

平成14年7月30日～平成14年8月4日：北海道教育大学教育学部旭川校1名、東北学院大学1名

8 寄贈資料一覧

番号	受入年月日	資 料 名	点数	寄 贈 者
1	2002. 4. 18	文那事変従軍記章ほか	14	矢田 邦子
2	5. 2	オルゴール（創立50周年記念品）	1	釧路星園高校
3	5. 2	わらじ	1	（不明）
4	7. 6	雪下駄	3	内澤 辰子
5	8. 31	貨幣（紙幣6点、硬貨8点）	14	平野 常雄
6	8. 31	書籍ほか	6	坂本 山男
7	10. 31	軍隊手帳、愛国百人一首	2	谷 達弥
8	10. 31	写真機（スタジオ撮影用）	1	佐々木 敦
9	11. 08	算盤（五玉）	1	足寄町役場
10	11. 10	屏風ほか	41	高橋 伸夫（茨城県）
11	11. 12	五月人形一式	1	菱沼 義夫
12	11. 12	写真（屈斜路湖畔地震（1938年）・人物）	6	前田 紀子
13	11. 29	プロマイド（女優写真）	6	清水 キミ
14	12. 03	書籍（最近の釧路港）	1	中川 浩（川崎市）
15	12. 13	唐箕（樋口式）	1	鹿島 信二
16	2003. 1. 9	賞状、善行証書、奉公袋	7	菅野 博
17	2. 26	音盤、ステレオ	190	須貝 和
18	3. 5	宣戦大詔	1	木村 正男
19	3. 20	五月人形、金太郎	2	小林富三郎
20	3. 22	錨ほか	10	新川 庄一
21	3. 26	レコードほか	1200	HBC釧路放送局
22	3. 27	蝶ほか	32	飯島 一雄
23	3. 27	トンボほか	68	土屋 慶丞ほか
24	3. 27	機関車プレート（C58106）	1	市秘書課